

中央線沿線の山 甲州：茅ヶ岳

- ◆日程 2016年10月9日(日)
- ◆メンバー L：山田日、山中、和田、他
- ◆天候 雨のち曇り

前夜、山田さんのご好意で「みうらや」に家族総出でお邪魔し、泊めていただく。翌日はあいにくの天気で登山は無理かなと思いつつ山中さん達と韮崎駅で合流。雨脚は衰えず、皆でサントリーの白州工場見学などすっかり観光モード、とりあえず茅ヶ岳登山口のある深田記念公園駐車場に向かう。深田記念公園駐車場にいた係のひとにパ



ンプレットを貰う。係のひと曰く、2組ほど茅ヶ岳を目指し登って行ったとのこと。雨は「みうらや」を出発した時よりは弱い降りになっていたが、雨は雨。子どもたちの雨用の装備も用意しておらず、どうしようか迷っていたところ、子どもたちが「登りたい」と言い出した。内心「本気かよ」と思ったが、その一言で「行ってみるか」「もうすぐ止むでしょ」と全体的に楽観的ムードになり、登山準備。

私にとって、久しぶりの登山。悪天候の中、不安はあったが歩き始める。茅ヶ岳は初めて登る山だと思っていたが、冬に一度例会山行で登ったことがあるらしい。そう言われても全く記憶がなく、登っていても思い出すことはなかった。老化現象以前の問題である。

しばらくは視界もきかない雑木林の登山道を、子どもたちの気を紛らわせるため、言葉ゲームをしながら歩を進める。登る気満々だったくせに、「まだ？」だの「あとどれくらい？」だのうるさいことこの上なく、皆さんにご迷惑おかけしました。すみません。短い休憩を挟みつつ、女岩手前に到着。現在は崩落の危険があるため立ち入り禁止となっている。女岩を過ぎると、しばらく急斜面で登りがきつくなるが、この頃には雨も上がり、尾根に出ると景色も明るくなり、木々の合間から富士山も見え周囲の山々の眺望が気分を上げてくれる。深田久弥終焉の地の碑を通過。山で亡くなるなんて本望だろうなと思いつつ、どうやって下に運んだのだろうかとなった。

11時46分頂上着。山頂は広く平らになっている。曇天ではあるが、富士山、八ヶ岳が見え、360度の展望は朝の出発時を思うと充分すぎるくらいである。20年以上前に登った鳳凰三山を前に、懐かしいというか、よくまあ、縦走したものだなあ、と感慨に浸る。昼食とするが、風が強く結構寒いのでゆっくり休む雰囲気ではない。他の団体も到着してくる。記念撮影をし、千本桜分岐のあるコースを下山。

往路は歩くことに夢中で気付かなかったが、トリカブトなどが咲いている。復路は殆ど休憩を取らずにガシガシ下る。なんとなくバラバラになり、山中さん、和田家族が先に駐車場到着。お喋りしながら歩いていて、私のミスで駐車場と逆方向の公園の方に進んでしまった。

登山自体が危ぶまれた山行だったが、皆で山頂に立つことが出来て本当によかったです。お久しぶりの方々、初めての方、ご一緒させていただき、楽しかったです。またよろしくお願ひします。

CT : 9 : 03 駐車場出発 9 : 28-33 休憩 10 : 25 女岩 50m手前 10 : 48-53 休憩
11 : 27 深田久弥終焉の地 11 : 46 茅ヶ岳頂上 12 : 20 頂上発 12 :
(記 : 和田)